



中北小学校 学校だより

そ っ た く き

啐啄の機

No. 4

令和3年6月28日(月)

上天草市立中北小学校

文責：横山

待ちに待ったプール開き

6月14日(月)にプール開きを行いました。子ども達は自分たちできれいに掃除したプールに入り、久しぶりの水の感触に歓声を上げていました。

さて、夏になると当たり前のようにプールで水泳の授業が行われますが、日本の学校にプールの設置が進められ、水泳の授業が行われるようになったのは1955年からだそうです。それは修学旅行中の小学生が海難事故に遭って亡くなったり、海で水泳の授業が行われる中学校で生徒がおぼれたりしたことがきっかけだったそうです。つまり、「命を守るため」に学校にプールが設置され、水泳の授業が始まったのです。

「命を守るため」のプールでの学習ですが、事故の危険と隣り合わせでもあります。プールでの事故を防ぐために学校では、水温・気温及びプールの状態の確認、プールカードでの健康状態のチェック、朝の健康観察でのチェック、複数指導体制による授業、バディシステムの導入など、二重三重の手立てをとっています。プールカードを忘れていたり、未記入だったりする場合に保護者の皆さんに直接連絡を取らせていただいたり、連絡が取れない場合には入水させなかったりするのも、子ども達の「命を守る」ための手立ての一つです。

プール開きでは、子ども達はとてうれしそうにしながらも、きちんと先生方の指示を聴き、安全に学習しようとしていました。どの学年もとても立派でした。事故がなく、子ども達にとって楽しく、学びの多いプールでの学習となるよう、安全対策を徹底していきます。ご家庭での健康管理、プールカードへの記入等のご協力のほど、よろしく願いいたします。



人権集会

6月17日(木)の3校時に人権集会を行いました。今年の中北小児童会のスローガンは「あいさつ上手で協力し合う、みんなが笑顔の中北っ子」です。人権集会に向けて、「どうすれば、みんなが笑顔の中北小」になるか、それぞれの学校で人権学習を行い、これから大切にしていきたいことを「学級のテーマ」としてまとめ、発表しました。1年生は「ふわふわことばと、やさしいところがいっぱいにする」、2年生は「1ねんせいになんてやさしく、おてほんになる2年生 なんでもがんばる」、3、4年生は「話し合って友達のことを知る。かかわり合って仲良くなる。」、5年生は「悪口を言わずに助け合って、けんかのない学級」、6年生は「みんなが笑顔になるよう相手のことを知って助け合おう」です。笑顔いっぱい、優しさいっぱいの中北小学校になるよう、一人一人が「思いやりの心」を、「言葉や行動」で実践して欲しいと思います。



とうもろこし収穫体験

6月17日（木）に益田輝雄さんの畑で、全校児童でトウモロコシ狩りを体験させていただきました。子ども達は実のつき具合を確認しながら、夢中になって収穫していました。今年はコロナ禍ということで、採れたてのトウモロコシを生で試食することはできませんでしたが、それぞれ用意した袋一杯にトウモロコシを収穫し、とても満足そうでした。職員もお裾分けに預かり、おいしいトウモロコシのお土産ができました。心より感謝申し上げます。



また、保護者の皆様にもたくさんご参加いただき、交通指導や荷物の運搬など大変お世話になりました。ありがとうございました。

田植え体験

6月19日（土）に4. 5. 6年生は田植え体験をしました。昨年からお世話になっている平山明広さんをはじめ、永田公作さん、竹崎歩さんにご指導いただきました。まずは、田植えの仕方や、今年植える苗の品種について説明をしていただきました。そして、いよいよ実際に田植えです。おそろおそろ田んぼに入ると、土の感触に歓声をあげていましたが、一本、一本丁寧に苗を植えることができました。大変貴重な体験をさせていただきました。またこの日は、PTAの一安史子さん、小崎真由美さんより、差し入れをいただきました。お世話になったみなさん、ありがとうございました。秋の収穫が楽しみです。



歯っぴー集会

6月15日（火）に健康委員会主催の歯っぴー集会を行いました。むし歯がない子どもが「ダイヤモンド賞」、治療済みで口の状態がいい子どもが「ピカピカ賞」を受賞しました。むし歯があっても治療が済めば「ピカピカ賞」が贈られます。むし歯は、治療しなければ治ることがなく悪くなっていくばかりです。大切な子どもの健康のために、早目の治療をお願いします。



児童集会

6月22日（火）に児童集会を行いました。企画委員会より劇を交えながら「もっといいあいさつにするためには、どんなあいさつをすればいいでしょう」という議題が提案されました。それぞれの学年でこの議題について話し合い、次のような意見が出されました。



「笑顔で挨拶をする」 「一度立ち止まって、おじぎをして挨拶をする」

「大きな声で挨拶をする」 「名前をつけて挨拶をする」 「相手より先に挨拶をする」

その後、企画委員会の子ども達が、出された意見を取り入れて挨拶の手本をみせてくれました。するとその翌朝、ちゃんと児童集会で話し合ったことを活かした、すばらしいあいさつをしてくれる子ども達が増えてきました。いいと思ったことを、すぐに実践できることはとてもすばらしいことです。ぜひ、ご家庭や地域でも子ども達が気持ちのよい挨拶ができたときには、褒めていただくとありがたいです。褒められることで、子ども達はぐんぐんと伸びていきます。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。